HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	北海道大学附属図書館報「楡蔭」145号
Citation	北海道大学附属図書館報「楡蔭」, 145
Issue Date	2013-07-01
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/66226
Type	journal
File Information	yuin145.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

楡蔭

【yu-in】

あなたの「読む」を探そう。

私のお気に入りの読書スペースを紹介。

文学研究科 1年
小山 わかなさん

私の本棚

学生書評

Radioactive: Marie & Pierre Curie: A Tale of Love and Fallout
Lauren Redniss 著（洋書）

リニューアル2号目

北海道大学附属図書館報
2013.7 No.145

北大図書館で、あなたの読むを探そう。

皆さんは自分の「読む」を持っていますか?「読む」をしっかりと考えていくことで、本から得られる多くのことが変化します。さあ、図書館で「読む」を見つけましょう!

読む

北大図書館で「読む」を充実させよう!

何のために読む?

授業にも、将来にも、活きる「読書」!

- 調査
  - 検討
  - 状況の把握
  - 方向決め
- レポート作成
  - プレゼン
  - 報告
- 学習
  - 資格取得
  - スキルアップ
  - 自分を知る
- 趣味
- 研究
  - 分析
  - 技術開発

どこで読む?

いろいろな場所から北大図書館を利用しよう!

- 図書館で読む
  - 北図書館
  - 16の学部図書室
  - オープンエリア
  - サイレントエリア
  - メディアコート
  - 本館
- 借りて読む
  - 芝生
  - 公園
  - ベンチ
  - 研究室
  - 大学構内
  - ゼミ室
  - 自宅
  - 部屋
- PCやスマホで読む
  - カフェ
  - コーヒー片手に

あなたのお気に入りのスペースは?

何を読む?

- 図書
- 雑誌
- 新聞

図書館HPから本のリストが見られます

「北海道大学蔵書目録」で、図書も雑誌も新聞も、電子版も含めて検索できます(ELMSのトップページからリンクしています)。

先生が選んだ「北大生が読むべき本」

不朽の名著

「この本に出会わなかったら今の自分はなかった」と、先生が推薦する本です。

「本は脳を育てる」図書展示

本は脳を育てる

新入生に読んでほしい本です。

北図書館では不定期で紹介された本の展示を行っています!

電子ジャーナルで雑誌を読んでみよう!

記事の内容から検索するなら「データベース」のリンクから、各種データベースへ。

例えば日経ビジネス、日経サイエンスなどの記事が読めます。就職活動にも!

大学で購読している約20,000誌のほか、無料で公開されている電子ジャーナルもあります。「北海道大学蔵書目録」で雑誌名から検索するか、各種データベースの検索結果から雑誌の本文を読むことができます。

いろいろな形態の新聞があるのを知ってる?

原紙

縮刷版

マイクロフィルム

データベース版

PCやスマホがあれば自宅やカフェでも北大図書館を利用できる!?

図書館HPの「リモートアクセス」から、例えば「実験化学講座」が読める!

利用法 その1 リモートアクセスを利用すれば、様々なコンテンツが読めます。

リモートアクセス…
北大で契約している電子書籍や電子ジャーナル、データベースに自宅や外出先からアクセスできます(ELMSのID/PWで認証)。

リモートアクセスができるものはこのマークがついています

利用法 その2 オープンアクセスで、学術論文や講義資料が見られます。

オープンアクセス…
インターネット環境があれば、誰でもどこからでも認証なしに本や雑誌の本文にアクセスできます(HUSCAPや青空文庫など)。

HUSCAP…
北大所属の研究者が著した学術論文、学会発表資料、教育資料等を閲覧できます。

HUSCAPから鈴木章名誉教授の鈴木・宮浦カップリング論文が読める!

私の本棚 学生書評

僕が見つけた「グラフィック・ノベル」は情緒と論理を刺激した。

Radioactive: Marie & Pierre Curie: A Tale of Love and Fallout ／Lauren Redniss 著(洋書)

留学時代に出会った時、まず見た目がカラフル。開いてみると文字と絵、写真がグラフィカル。内容はキュリー夫人の伝記といった本書。タイトルの「Radioactive」は放射能を意味し、各章のタイトルもそういった「用語」をダブルミーニングとして使用していました。つまり、彼女の放射線研究と情熱溢れる人生を交差させた表現だったのです。僕の専攻も放射線関連だったので、様々な角度で表現されたこの本と出会えて、とても刺激を受けました。日本には売っていない本ですが、自分自身が本と「どのように出会うか」ということも「読み方」のひとつとして楽しんでみてはいかがでしょうか。

<今回の書評> 梶原(かじはら) 孝則(たかのり) さん
工学部4年。図書館サポーター。少年時代からつねに本を読む習慣があり、昨年のウィスコンシン大学留学時代に、この良著と出会う。

イベント開催 新渡戸カレッジ応援イベント

留学経験者のメッセージを読んで、留学や語学学習について考えてみませんか?

「Girls and Boys, Be Global !!」図書展示
展示期間:7月2日(火)～16日(火)
展示場所:北図書館3階 大型本・留学生用図書コーナー
海外旅行や留学、語学に関する本を推薦文付きで展示します。また、留学経験のある日本人学生から、留学へ至った経緯、留学中のこと、その後の学生生活、留学時に役に立った本、留学中の写真などについてポスターパネルで紹介します。

私のお気に入りの読書スペース紹介

北大図書館には用途に応じた色々な読書スペースがあります。学生のみなさんは自分のお気に入りの読む場所はありますか?

図書館サークル「Sapollo」
文学部2年 井上沙織さん

私のお気に入りスポットは、本館4Fの過去の新聞などが置いてある閲覧室の机です。ちょっと奥まった所にあるので、他の場所よりも静かで、集中して読書ができます。

図書館サポーター、図書館サークル「Sapollo」
教育学部4年 蒔苗詩歌さん

私は本館3Fラウンジの黄色いソファが気に入っています。ふかふかしていてリラックスしながら読書を楽しめます。また、開放的な窓で天気の良い日はとても気持ちがいいです。

本館閲覧担当 芝 翔太郎

本館総合カウンターの横にメディアコートがあるのをご存じですか?奥行き29m×幅26m×高さ24mの巨大な憩いの空間です。天窓から差し込む光を感じながら本を読めますよ。会話や飲食が可能なスペースでもあります。

お知らせ

本館と北図書館では、試験期間中の土日は22時まで開館いたしますのでご利用下さい。

本館:7月20日(土)～8月4日(日)
北図書館:7月20日(土)～7月28日(日)

facebookページ人気記事のご紹介（平成25年5月8日 投稿）

北海道大学附属図書館の
「公式facebookページ」

地球を半周してきた海外へのメッセンジャー

連休明けの雑誌受入担当に届いた、封筒狭しとカラフルな切手がひしめく二通の封筒。

地球を半周して、ブルガリアから新聞を運んできた封筒には、蝶や建物の切手。日本海を渡ってモンゴルの新聞を包んでやってきた封筒には、赤と青の鮮やかな国旗。

カラフルな印刷で世界中へ届く郵便切手は、お国自慢を異国へ運ぶ使者の役割を果たしていました。日本の切手も、日本の動植物や美術品・名所旧跡を印刷に乗せて、海外へのメッセンジャーになっています。

さて、私たちの仕事に大切なのは、中身の新聞。

今回届いたブルガリアとモンゴルの新聞のほか、東欧や中央アジア、ロシア各地の新聞を、スラブ研究センター図書室で収蔵しています。この地域の主要な新聞を購読している図書館は国内でも珍しく、貴重なコレクションになっています。

写真上：モンゴルから届いた封筒／写真下：ブルガリアから届いた封筒

Webで記事の読める新聞も当たり前になってきましたが、紙の新聞をめくって、広告やラ・テ欄を見くらべ、印刷や紙質を吟味、指をちょっとインクで煤（すす）けさせるのも楽しいですよ。　（雑誌受入担当）

新連載

「コーケツ直也の学部図書室訪問」

第1回 水産学部

今号から始まった図書館職員の纐纈（こうけつ）直也さんが各図書室を訪問するコーナー。第1回目は函館キャンパスにある水産学部図書館です。

正門から入って目の前に見えるのが管理棟。その左に渡り廊下でつながった独立した2階建ての建物が図書館です。水産学部図書係長の小林さんにお話を伺いました。

コーケツ「広い閲覧室ですね。席数はいくつですか?」

小林「84席です。13万冊の本があります。函館キャンパス全体の教職員・学生の皆さんが利用しますからね。」

▲ 奥行きのある閲覧室

コーケツ「水色の書架に、本も水色や青のデザインが多いですね。ブラインドまで水色のように見えてきました」

小林「ちょっと水の中みたいでしょう?」

コーケツ「雑誌の棚には月刊海洋、養殖ビジネス・・・たくさんの専門雑誌があるんですね。あ、うみうし通信なんてのも！なんだかすごく気になります・・・」

小林「水産らしいでしょう?」

コーケツ「こちらは『日本ベントス学会誌』・・・ベントスって何ですか?」

小林「底生生物、つまり、水の底に生息しているヒトデやウニ、ヤドカリ、サンゴなどもまとめてそう呼んでいるんですよ。」

コーケツ「書架にはカモメ識別ハンドブック、カツオ・マグロのひみつ・・・専門家でなくても楽しめそうな本もありますね。」

▲ 水色の書架

小林「他にも寿司のおいしい食べ方、食品関係の本、魚や海洋動物の本など、海や水産に関わる本がたくさんあります。」

コーケツ「こちらが書庫ですかー。出窓みたいになっている机が面白いですね。」

小林「書庫は三層に分かれていて、主に製本された雑誌が置いてあります。また、他では見られない珍しい資料もたくさんあるんですよ。例えばこちらには、水産試験場や研究所の研究報告書などが地域別にまとめられています。」

コーケツ「北海道から沖縄まで、まさに全国から集められているんですね！この重厚そうな本は何でしょう?」

（続きはfacebook7月1日の投稿記事をご覧下さい）

北海道大学附属図書館報「楡蔭」（ゆいん）　第145号　平成25年7月1日発行

＜編集・発行＞ 北海道大学附属図書館 〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目 TEL: 011-706-2967
E-mail:shomu2@lib.hokudai.ac.jp　Web:www.lib.hokudai.ac.jp　Facebook:www.facebook.com/hokudailibrary